

7/14(土) まいど! 倫理を学ぶ この度の西日本地域で被災地と目録に  
心から見える。申しやう。今回の倫理のテーマは「社長の影」……と

今週の倫理 1090号 2018.7.14~7.20

幸せなアト-鳥

# まず自分から 愛情を傾ける



え・城谷俊也

七月のテーマ

社員のおかげ

**倫**

理運動を創始した丸山敏雄  
は、著書『サラリーマンと

経営者の心得』の中で、「自分が人  
に合わせることを。この簡単な筋道  
を進むのが倫理である」と述べて  
います。「まず自分がよくなればよ  
い。相手を尊敬すればよい。愛情  
を傾ければよい」として、「自分か  
ら」というところに、人と人との  
倫理があると説いています。

\*

T部長は「自分のやっているこ  
とはすべて正しい」という思いか  
ら、部下が売り上げ目標を達成で  
きないことに對し、「なぜ出来ない  
んだ!」と怒鳴り、強い責め心を  
持っていました。

その後、倫理法人会のセミナー  
で「トップが変われば社員が変わ  
り、社員が変われば会社が変わる」  
という話を聞きました。

これまでは、自分から部下に報  
告したり、挨拶をすることはなか  
ったT部長ですが、先が変わるべ  
きはトップであり、「部下は上の命  
令に従うもの」という理屈では、  
人は動かないことを知ったのです。

それ以来、「大きな声で怒鳴らな  
い」と共に、「自分から先手で  
挨拶をする」ということを心がけ  
て実践を続けました。

その後、T部長は社長に就任し  
ました。「経営者よりも、お客様に  
一番多く会っているのは社員です。  
社員のおかげで、わが社の業績は  
順調なのです」と、今では周囲に  
語れるようになりました。

嬉しいことに、かつては社内外

がギスギスしていたのが、業界の  
「顧客満足向上委員会賞」を受賞  
するまでに好転したのです。

\*

S社では、労働基準監督署の立  
ち入り調査により、多くの是正勧  
告を受けました。事の発端は、社  
内告発で監督署に通報があったこ  
とです。当時、S社の労働時間は、  
法律で決められている時間をはる  
かに超えていました。

是正勧告により、これまでのよ  
うな残業ができなくなり、経営悪  
化はもちろん、倒産という結果ま  
で頭をよぎるようになったのです。

この大苦難の中、S社長は倫理

の筋道に自身を照らしながら、社  
員とその家族への思いやりが欠落  
していたことを深く反省しました。  
社員には「家族を大切に」と言い  
ながら、過剰な残業により、自分  
が団欒の時間を奪っていたのです。  
この苦難を機に、「社員と家族に  
喜んでもらえる会社をつくる」「家  
族団欒の時間を取り戻す」「二度と  
社員と家族に同じ思いをさせな  
い」と強く決心したのです。

やがてS社では大幅に残業が減  
り、社員の家庭でも団欒の時間を  
取り戻すことができました。期末  
の決算では、前年より増収・増益  
にもなりました。

T社長、S社長のように、労使  
関係を良いものにして、業績向上  
に結びつけるには、「おかげで」と  
いう意識を持てるかどうかにかか  
っています。「社員のおかげで、今  
の会社の発展がある」「自分は非力  
だが、社員の働きによって、わが  
社は成長できた」という自覚のも  
と、まずは社長から社員を尊敬し、  
愛情を傾けていくところに、職場  
の倫理があるのです。